

プライベートゾーンの
指導ははじめませんか?

命育 園向け性教育講座・教材

園づくり・人づくりを考えるIT専門紙 パステルIT新聞

購読申込(無料)・掲載依頼のお問い合わせは「パステルIT新聞事務局」まで

〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1 ☎054-626-8888 ☎054-626-3371
 発送先数: 11,753 施設 (幼稚園 30% 保育園 40% 認定こども園 29% その他 1%)
 創刊: 2008年6月20日 発行: 株式会社サンソフト

第181号
- 毎月20日発行 -

今月の紙面

- 1 - こども誰でも通園制度で加速
園が地域の子育て拠点に
- 2 - 船井総研 時流予測レポート2024公開
- さつま芋スイーツときぼうカフェ
- 3 - ホームページ運用に変化 SNS連携のメリット
- 生成AI「ChatGPT」を書類作成に活用
- 4 - コラム「原点回帰」 みなみ福祉会 近藤理事長
- がんばれ!!わかば先生 Vol.181



2019年、おうち保育園かしわぎ(宮城県)でフローレンス初となる保育園こども食堂を開設。月1回からスタートし、今では在園児や卒園児だけでなく地域の子育て家庭が訪れる場に

特集 地域に開かれた園づくり

こども誰でも通園制度で加速 園が地域の拠点に

2026年度から全国の自治体で実施予定の「こども誰でも通園制度」。子育て家庭との接点や障がいのある子どもの受け入れ体制の強化など、地域における園の役割に期待が高まっています。

親の就労有無を問わず時間単位などで子どもを預けられる「こども誰でも通園制度」。2年後の実施を見据え、出産前後を含む地域の子育て家庭支援や子どもの居場所づくり、障がいのある子どもの受け入れ体制の強化など、園に求められる役割が多様化しています。

そうした中、園の多機能化の一例として注目されているのが、園での子ども食堂です。これまで目的外使用という理由から園での子ども食堂を規制する自治体が多くありました。しかし、2023年9月、地域貢献活動の一環として、園での子ども食堂の実施基準を明

確化した通知を国が発出。これを機に、全国で開設の動きが広まっています。「子どもが安全に過ごせる環境があって、子育てや食の専門家である保育士や栄養士がいて、衛生管理が行き届いた給食室がある。園は子ども食堂を行うのに適した環境が揃っている」

そう語るのは、園での子ども食堂の実施について国に政策提言を続けてきた認定NPO法人フローレンスの中村晴子さんです。

同法人は、2019年に仙台市の保育園でいち早く子ども食堂を開設して以来、東京都の保育園でも月1〜2回、イートイン型の子ども食堂を運営。スペースの確保が難しい小規模園では、テイクアウト型や食料を無料提供するフードパントリーを実施してきました。取り組みは回を重ねるごとに地域に浸透し、利用者からは「食べ終わった後子どもが遊べる空間があるのがありがたい」「育児の

不安を相談できた」「地域に自分の居場所があるんだと安心できた」と喜びの声が寄せられています。一時預かりや入園につながった事例も多く、中には、保育士と顔見知りになり子育ての悩みを相談できるようになったことで、子どもの入園と自身の復職を決意した保護者もいたそうです。

「これまで園との接点が多かった無園児家庭の多くは孤立した中で子育てに奮闘している。地域に支えられながら子育てしてきたかつての世の中とは違い、今は孤独な子育ても増えている。そういう家庭にも園を活用してほしい」と中村さん。取り組みを通じて地域の子育て家庭が抱える悩みを知る中で、地域に園を開き、地域に目を向けていく意識が職員の間でも醸成されてきたといいます。

子ども食堂で担う新たな役割



地域住民の声が職員の励みに

さらに、フローレンスは、資金不足や人手不足を解決するために園での子ども食堂を応援する助成事業も開始。地域に根差した全国の好事例が集まっています。

新たな地域とのつながりが生む効果について中村さんは、「地域の方に気軽に園に足を運んでいただけようになることで、地域に仲間が増える。園を拠点に互いの関係性を深めていくことで、保育や子育てをしやすいく地域になっていく」と期待を寄せます。

こども誰でも通園制度の実施に向け、短時間の保育利用や医療的ケアが必要な子どもの受け入れなど、地域の子育て拠点としての役割がますます求められるようになります。フローレンスは、これまで保育事業の中で培ってきた保育園こども食堂のほか、医療的ケア児の受け入れノウハウを広める研修に注力。保育・子育ての未来を見据えた動きに注目です。

認定NPO法人フローレンス

こども・子育て領域の社会課題解決活動と価値創造に取り組む。保育事業で自ら実践を積み重ね、これまで多くの政策提言を行ってきた。2023年度からは保育園こども食堂を全国に広めるための助成事業を実施。

文・服部由実

医療的ケアが必要なお子さんを預かるみなさんへ
保育園での受け入れに向けたサポートを実施します!

2014年に「障害児保育園ヘレン」を開園以降、障害児保育・家族支援事業で10年にわたり知見を培ってきたフローレンスが、医療的ケア児受け入れのノウハウをお伝えします。

状況をお伺いし、ニーズに合わせた研修を提供!

座学研修 実技研修 園見学 など

こどもたちのために、日本を変える
Florence

船井総研時流予測レポート 2024年のキーワード

中堅・中小企業の経営コンサルティングを行う(株)船井総合研究所は、「2024年度『業種別』時流予測レポート」を公開しました。同レポートでは、131



「2024年度業種別時流予測レポート」は公式サイトからダウンロード可能



の業種・経営課題別に動向と今取り組むべき施策を解説。園業界は「保育業界」と「認定こども園・幼稚園業界」の2つが公式サイトから無料で入手できます。

制度や需要の変化に対応した施策を

こども家庭庁の発足で、2024年以降、「こども誰でも通園制度」の試験事業が保育所・認定こども園・幼稚園・児童発達支援センターなど150の自治体で

はじまるなど、業界全体で子どもに係る総合的な支援が求められるようになりま。一方で、少子化・待機児童数の減少に伴い、園に通う子どもの数の減少が見込まれています。選ばれる園となるためにも新制度や新たな保育ニーズに対応した園児募集施策や環境面の強化、人材採用・定着への対応が引き続きキーワードとなるようです。

同レポートでは認定こども園・幼稚園のブランド価値を高める「ブランドイングフレーム」や、保育所利用ニーズに応じた園児募集施策例を紹介しています。

文・芦川桃香

プロフェッショナルコラム・第117話

園の未来を創造するために(3)

0歳から5歳の様々な子どもが成長し、家族が幸せになる学園では組織Ⅱ人が要となります。労働時間・人間関係・給与の安全安心を追求すると職員が定着する職場になります。専門性を高める仕組みを整えれば職員が成長します。様々な専門性を持った複数の職員チームが子どもを真ん中に円になって連携して子どもを育てる「チーム連携型組織」を実現しましょう。安全に安心して働けて成長できる魅力いっぱいの職場を広報して採用できる(就職したくなる)職場を実現しましょう。園で生まれる子ども達の成長を家族に伝えることで家族が幸せを感じ、その幸



学園経営コンサルタント
石田 敦志



せが教員・職員の喜びとなり、また質の高い園づくりが実行される。そしてまた子ども達の成長が生まれるサイクルを園内でぐるぐる廻しましょう。園の理念と方針・子ども達の成長と職員の充実が口コミとなって拡がり、園児も先生も集まってくるようになりま。様々な困難な状況に置かれている今がチャンスです。躊躇なく自分自身と自園を変化させていきましょう!

石田 敦志

「みんなをHAPPYに」の信念のもと、自身の経験を活かし、園経営、教職員育成を支援。無料メルマガ申込は左記アドレスから。

aisindata4@edure.jp

NEWS

もったいない! から生まれた さつま芋スイーツと きぼうカフェ・静岡

静岡県で小規模認可保育園を6園展開する(株)きぼう。藤枝郡(ふじえだこおり)園の2階にきぼうカフェを開設し、独自の食育とSDGsを展開中です。



看板メニューの芋プリン

保育所きぼうは、食育に重点を置いています。給食の残飯を堆肥化した畑でさつま芋を育て、毎秋の収穫時には子どもたちとパーティーをしますが、みんなに分けてもさつま芋が余ってしまうことが課題でした。調理師の発案でプリンにしたところ、とてもおいしく、無添加の安心おやつに変身させるという良策が見つかりました。「地域の皆さんにもぜひ」。そんな想いで2022年に園の2階にカフェを開店しました。

さつま芋スイーツのほか、カレーやハンバーグなどのランチメニューも提供。ご近所さんや癒しのひとときを求めるランチ民も来店されます。カフェは保護者面談や職員の休憩にも役立っています。



原宿にあるカフェのようなイメージの店内

同社代表取締役 役村本公美さんは、「認知度を高め、食育とSDGsを継続したい」と語ります。フルーツ奏者でもあり、保育に音楽を活かしてきた村本さん。カフェで演奏会も開催するそうです。食と音楽による小さな保育所の試みは、持続可能なまちづくりの希望と言えます。

文・鈴木あゆみ



園見学や一時保育も
簡単申込み!

ピッタリの保育園が探せる!

いますぐチェック!!

保育園探し



無料
トライアル中!!



メディアの違いを把握し、目的に沿った運用を

ホームページ運用に変化 SNS連携のメリット

園の理念や取り組みを伝え、選ばれる園づくりにおいても重要な役割を持つホームページ。近年は、ホームページにSNSを埋め込み、サイトからSNSの投稿を閲覧できるようにする園が増えています。

これまで園のホームページは在園児保護者向けの運用が主流で、投稿の多くはパスワードで保護されてきました。しかし、ホームページが未就園児保護者や求職者に向けた情報発信の場として広く活用される中、パスワード付きのおしらせは返ってターゲットを在園児保護者に限定してしまう懸念も。加えてそれぞれの対象に向けた投稿を続けるには労力の要るものでした。

そうした中、近年増えているのは、ホームページにInstagramなどのSNSのタイムラインを埋め込む運用（SNSの投稿内容をホームページに自動表示するしくみ）です。手軽に投稿できるSNSの特性を活かすことでホームページに動きを出せるほか、コンテンツが増えることでホームページの滞在時間や回遊率も増え、園のファンとなるリピーターの獲得につながります。

専門家の声

ホームページとSNSの一番の違いは情報の届き方にあります。ホームページは、元々興味のある人が見たい時に訪れる「プル型」ですが、SNSは生活に溶け込み、フォロワーをすればいつでも情報を受け取れる「プッシュ型」のメディアです。重要なのは、双方を使い分け、継続的に園の世界観を発信していくこと。ターゲットの年代や関心度にあわせて、参照できる場と情報を用意し、幅広い集客や保育理解の推進に活用していきたいでしょう。

山本大気

㈱サンソフト。Webディレクター/Webデザイナーとして園のホームページ制作に伴走。

ホームページとSNSの違い

	ホームページ	SNS
メディアのタイプ	プル型	プッシュ型
情報の流れ方	蓄積されていく	流れていく
持続力	長い	短い
情報の拡散力	小さい コンテンツの質・数に左右される	大きい フォロワー数が少なくても拡散され話題になる
レイアウトの自由度	自由に編集できる	固定されている
コスト	有料	無料
ターゲットとの関係性	一方的に情報を発信する	双方向のコミュニケーションが可能

ホームページとSNSの得意分野を活かすことで相乗効果を得られる

本来は上記のように得意分野が異なるホームページとSNS。しかし、組み合わせることで運用上の課題解消や相乗効果を期待できます。園の認知度を高め、より多くの人の関係構築につなげましょう。

文・山口捺暉

5園限定で実施中

無料

ホームページ診断

お申し込みは右のQRから!



パステルIT新聞

もっと! 保育にパソコン つかっちゃお!

メモ書きや調整前の文章をもとに要約 生成AI「ChatGPT」を 書類作成に活用

「文章を書くのが苦手」「端的にまとめられず長文になってしまふ」。今回紹介するのは、そんなときに一度試してみたい生成AI「ChatGPT」です。

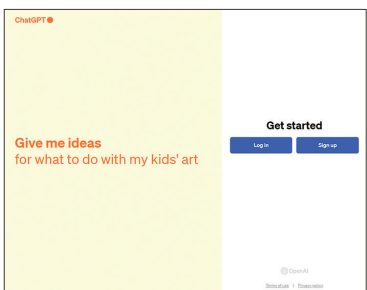
「ChatGPT」は、人間の言葉

に対し、AIが膨大な学習データから法則を予測し、応答するAIチャットサービスです。

使い方はメッセージ入力欄に質問やコメントを送るだけ。数秒でAIから返答が届きます。AIへの指示文をわかりやすくしたり会話を重ねたりすることが、より求める答えに近づけられます。メモ書きをもとに保育

日誌に載せる文章を生成したり、長文を指定の文字数に要約したり、自分の文章が相手に伝わりやすいものになっているかを確認する校正ツールとしても活用できます。ぜひお試しください。

※ChatGPTに送信した内容は今後の学習データに活用される可能性があります。個人情報を送らないようご注意ください。



無料版のChatGPT 3.5は会員登録のみで利用可。利用は公式サイトから

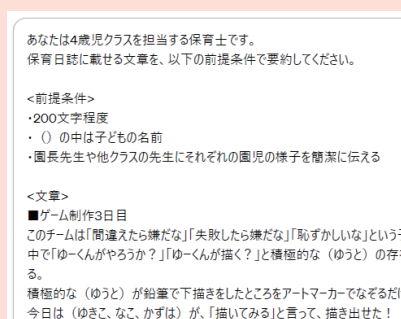


ステップ① メッセージ入力欄から ChatGPTに質問を送る



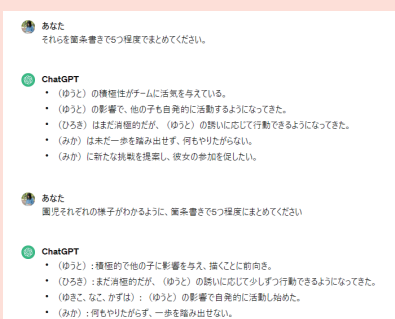
公式サイトでアカウントを作成し、ページ下部の「ChatGPTにメッセージを送る」から質問を送信します（文字入力後、Enterキーで送信）。過去の会話履歴は左側のバーに表示されます。

ステップ② AIが理解しやすいよう 質問文や指示文を工夫する



「あなたは4歳児クラスを担当する保育士です。保育日誌に載せる文章を以下の前提条件で要約してください」など前提となる情報や条件を示すと、それらを考慮した文章が生成されます。

ステップ③ ChatGPTと会話しながら 答えをブラッシュアップする



回答に対し、「箇条書きでまとめて」「園児それぞれの様子がわかるように」など会話を重ねることで、より求める答えに近づけられます。最後は生成された文章を確認し、自らの目線で整えましょう。

文・服部由実

キャラメル
CHARACTER MELTING SYSTEM

開発・販売元
株式会社ビッツ
03-3779-2150
特許取得 第7156771号
国際特許 [PCT/JP2022/23832]

写真から個人情報を

自動消去!

AIが全自動で安全な写真に加工します

顔出しNGのお顔には自動スタンプ

お名前はきれいに自動消去

1ヶ月無料お試しはこちら
操作は写真をアップするだけ!





「ロコミで愚痴込み対応!？」編



ロコミには冷静な対処が大切。虚偽情報や誹謗中傷などは、削除依頼が可能です。第三者になりましたロコミは、ステマ規制の違反対象のため注意しましょう。詳細は新聞サイトをご覧ください。

保育園の敷地内に自宅がある環境で生まれ育った私の関心は工学研究。大学では人工知能を専攻し、卒業後はN... 研究に就職しました。研究に明け暮れる中で帰省した際に、保育園長の父が園の将来について語りました。「お前が保育の仕事をするのもないだろうから、いずれは園を閉じようと思っ...」



持続可能で理想的な保育の世界を目指して

園のリソースをできる限り保育に割り当てるため、組織構築や行政との連絡の

近藤敏矢先生 社会福祉法人みなみ福祉会理事長、法人のDX取組などは、経営協の実践事例として複数掲載されている。ネット上にもインタビュー動画あり。日本保育学会所属。

「選ばれる施設」という視点は重要ですが、それだけではなく、子どもたちをみなが見守り、施設がなくても誰も困らない地域社会の実現を目指していきたいと考えています。

園の先生が語るコラム

原点@帰 -子どもの未来をつくる人-

社会福祉法人みなみ福祉会(愛知県) 理事長 近藤敏矢

秀で、私の代わりがいくらでもいる大企業か、私以外に誰も務まらない実家の園か。鶏口牛後。私は後者の選択を決断しました。 一般企業から保育業界に転職して驚くことは多々ありました。また、保育を取り巻く不十分な制度、保育に対する世間の関心の低さも大きな課題であると感じ、拙著『ここが変だよ、保育園』を上梓しました。機会があれば是非ご覧ください。

円滑化など「大人の工夫」で、書類業務のような、「大人の都合」による「大人の業務」の削減に務め続けています。2019年には1法人複数施設へ展開し、組織内の誤解や錯覚を生まない組織管理手法である「識学」を導入しました。保育業界では初と聞いています。「待機児童」という保育バブル期は既に終了しました。今後は保育も、行政に守られる運営ではなく、自立した持続可能な経営が求められます。もちろん「保育の質」



今月のおすすめ絵本



春、子ぐまのくまくんにも、お母さんと別れるときがきました。山の動物たちや命をはぐくむ大地、さまざまな出会いや経験によって成長していく物語。

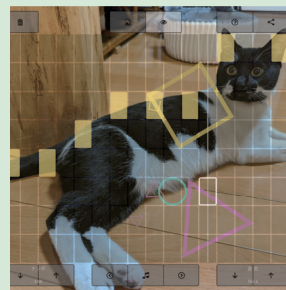
『くまくんです。』 作・絵/村上康成 出版社/ひさかたチャイルド 定価/1,540円(税込)

CANVAS NEWS!

遊びと学びの秘密基地

クリックで奏でるオルゴール

今回はデジタルえほんアワード一般部門 入選作品より「クリックで奏でるオルゴール/MATHRAX(日本)」をご紹介します! クリックすると色がつくブロックがならんでいます。このブロックにもようをつくったり、絵を描いたりして音楽をつくってみましょう。どんな音楽ができるかな? できあがった音楽はだれかとシェアしたり、もらった音楽をさらにアレンジしたりもできます。



たのしい! みたことない! 世界が広がる! デジタルえほんアワード

デジタルえほんアワード http://www.digitalehonaward.net/



パステルIT新聞よりお知らせ

いつもパステルIT新聞をご覧いただき、ありがとうございます。

この度、パステルIT新聞は2024年4月号を区切りとして、発行形態を月刊発行から季刊発行(6月・9月・12月・3月)に変更することになりました。

創刊から15年。これからの地球環境や2024年問題と向き合いながら、「園づくり・人づくり」を推進していくためのコンテンツをお届けしてまいります。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。パステルIT新聞編集部一同

次号発行は、2024年夏号(6/20)です。楽しみにお待ちください!